

会派調査(研修)報告書

NO.

平成30年8月13日

胎内市議会議長 様

(報告者) 会派名 志政会とみどりの未来

代表者名 桐生清太郎

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 平成30年7月2日 至 平成30年7月4日 泊 3日 (3日間)	調査・研修 場所	岩手県大船渡市
調査・研修 事項	大船渡市：①市議会災害対応指針等の作成について ②議会改革活性化の取り組みについて		
調査・研修 出席者(参加者)	桐生清太郎 高橋政実 榎本文雄 渡辺秀敏 佐藤陽志		
相手方(対応者)	大船渡市：船野章、紀室若男		

調査の結果または概要

●大船渡市議会の震災後の対応

- ・平成 22 年 5 月 議会改革調査特別委員会設置
- ・平成 23 年 6 月 災害復興対策特別委員会設置
- ・平成 25 年 6 月 災害対応マニュアルの策定
(災害対応指針、災害対策会議設置要綱、災害時行動マニュアル)

調査の所見・感想

●大船渡市

震災後、大船渡市は市議会が一丸となって災害対応マニュアルを作成した。それは東日本大震災という未曾有の災害で、多大なる人的物的損害を被り、そこから有事の際の市議会及び市議会議員の役割を考えることから始まった。マニュアル完成後、大船渡市議会としては毎年防災訓練を行い、災害対策会議の設置や議員自らの安否確認、災害情報の収集整理、地域要望のとりまとめなどの項目を確認している。また、その際、救命講習として心肺蘇生法や AED 操作、止血法などを学んでいる。

当市では、しばらくの間大規模な災害は経験していないが、災害はいつ起こるかわからないので、この度の視察での学びをいかし、胎内市議会としての防災対策マニュアルを策定したいと考える。